

ヨコハマタイヤコーポレーション CSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの生産・販売
敷地面積: 422,000m²
従業員数: 1,239人(2011年7月現在)
本社所在地: 601 South Acacia Avenue, Fullerton, CA 92831, U.S.A.
工場所在地: 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口:

Environment Health and Safety Dept. Neil Dalton, Director of Environment Health and Safety
 TEL: +1-540-375-8209 FAX: +1-540-375-0226 メールアドレス: Neil.Dalton@yokohamatire.com



社長ご挨拶



田中 靖

ヨコハマタイヤコーポレーション(YTC)は、1969年に米国カリフォルニア州にタイヤ販売会社として設立され、1992年にモホーク・ラバー・カンパニー(現バージニア州セーラム工場)と合併してタイヤ生産販売会社となり現在に至っています。

その生産拠点であるセーラム工場では、2007年3月にISO14001の認証を取得し、これを継続しています。併せて省エネルギーの推進によるCO₂排出量削減、産業廃棄物の削減

とリサイクル、ならびに再生ゴムの使用など3Rを進めることが評価され、2010年12月にVEEP (Virginia Environmental Excellence Program) のトップカテゴリーであるE4を取得することができました。商品開発においては、乗用車向けとしてYRCでの最高峰のAll Seasonタイヤ“ADVAN S4”の生産を、海外工場で初めて2010年11月より開始しています。また、トラック用タイヤにおいては、環境性能に特化した

タイヤZ ENVIRONMENTをはじめ7パターンが、EPAの定める低ころがり抵抗の燃費性に優れた“SMART WAY”タイヤとして認証されています。一方、「YOKOHAMA千年の社」プロジェクトでは、セーラム工場が2009年4月(第一期)、2010年4月(第二期)に続き、2011年5月に第三期の植樹をしたほか、カリフォルニア本社でも2010年12月に宮脇昭氏(植物生態学者)にも参加していただき、工場以外では初めての第一期植樹を実施しています。

このような活動を通して、ISO26000に準拠した地球貢献企業を目指し、積極的に環境および社会貢献に取り組んでいきます。



環境経営の推進

環境マネジメントミッション： YTC ENVIRONMENTAL POLICY

- (1) 横浜ゴム(株)環境「GD100」を尊重し、業務活動として環境問題へ取り組む。
- (2) 環境マネジメントシステムを強化し、継続的改善により汚染に対する予防を行うことで、技術的・経済的に問題解決を進める。
- (3) 適用された法的要求と他の我々が同意した環境要求について遵守する。
- (4) 屑の削減、リサイクル、リサイクル社会の維持に貢献できる再利用を通し、汚染防止活動を実施することで、自然界の維持に努める。
- (5) 業務を通し、省エネルギー/エネルギー効率の改善/再生可能エネルギーを含めたエネルギーの責任ある使用により地球温暖化防止の活動を実施する。
- (6) 環境に関わる情報、教育、訓練を従業員に与え、ステークホルダーへの実践的な環境福祉援助に貢献を進める。
- (7) ビジネスプロセス、製品、活動に対する継続的改善に努力する。環境マネジメントシステムで設定されている環境目標を毎年目標と進捗をレビューし、監視していく。

環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	
廃棄物	発生量(t)	2820.0	2956.0	3518.6
	埋立率(%)	49.0	41.7	46.0
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	21,463	20,747	21,635
	燃料	11,348	11,232	11,840
	合計	32,811	31,979	33,475
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	68.6	66.8	70.0	
水使用量(千m ³)	189	171	196	

※年度:1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況

アメリカ合衆国環境保護庁TSCA(有害物質規制法)にのっとり企業活動を行っています。過去に使用経験のない化学物質を新しく工場に導入する際は、社内の専門家による承認過程を得る仕組みをとっています。

騒音、振動、臭気について

2010年、近隣住民より騒音苦情を1件承りました。対策として、YTCでは構内要所に騒音モニター装置を設置し自己管理しています。2011年1月以降の騒音件数はゼロで推移しています。

安全衛生方針

YTCは、安全衛生環境の整った職場を職員に提供することを会社の責任と認識し、職場における事故の撲滅を最重要課題のひとつとして掲げています。また、職員の安全と健康は、労働時間内だけではなく、時間外においても重要と考えており、職員の安全、健康、火災防止等を考慮した工場運営を、州や連邦の規制を遵守しつつ進めています。

従業員の教育・訓練

新規採用の従業員の教育・訓練はもちろん、毎年行われる安全トレーニングについては、全従業員対象で実施しています。

災害時の対応

セーラム工場では、“Industrial rescue team”を持っており、医療救急、火災・事故発生時の対応体制も整えています。また火災非難訓練も定期的に実施しています。

地域社会とのかかわり

2010年地域関連活動

Clean Valley Day：工場の正面道路(セーラム市・インディアナストリート)の清掃活動にYTCの職員として参加しました。

2010 Fall Waterway Cleanup：

ロアノーク川の清掃活動にYTC職員として参加しました。



Virginia Environmental Excellence Program (ヴァージニア州環境優良プログラム)：2010年、セーラム工場は同プログラムの最優良環境企業グループ(E4カテゴリ)の加入を認められました。

Forever Forest (千年の杜)

2010年11月、セーラム小学校の生徒を招き、千年の杜プロジェクトの一環として、種まきをしました。3年生の生徒を対象に、木や植物の環境における役割やYTCの環境目標に関する話を聞いていただきました。



YOKOHAMA千年の杜 PJ YTC Fullerton 第1期植樹 (10/12/3(金)) 速報

植樹日時：2010年12月3日(金) 10:00~14:00
 植樹場所：YTCフロン本社前道路側約100m²
 <7種 約500本を150人で植樹>
 植樹種：Coast Live Oak, Canyon Live Oak, Lakeside Lilac, California Holly, Engelmann Oak, Scrub Oak, Sugarbush
 参加者：YTC：大石社長、武田CFO, Dan VP始め従業員及び家族
 外部：フロン市長、Forest Dep.関係者、消防署関係者など
 日本から富永相談役も参加
 <なお前日の12/2には近隣の小学校にて園果のポット播種の実習を行った>

